

『啄木のふるさと』もりおかの短歌

夏の部 優秀賞発表

中津川

初夏の風吹く川べりを
ともに歩きし人いまいずこ

東京都練馬区 久慈 博子

みちのくの手づくりたいけん
おもしろい

たくさん入るさらとペン立て

愛知県名古屋市長 大谷 颯

夕暮れて

十六羅漢の裏手より

今日も聞こゆるさんさの太鼓

岩手県盛岡市 鈴木 文子

木々の葉の緑の濃さに誘われて
ふとおとずれた

啄木のいえ

岩手県奥州市 熊谷 知華

帰り来ぬ

夫を待ちいる佳人に似て

ひそやかに咲くぎぼうしの花

栃木県鹿沼市 藪 みのり

岩手山望みて思ふ
あの山は

啄木の見し山我も見し山

千葉県館山市 三平 智子

夕暮れに

ふと立ち止まりふり向けば

息吹き感じる古き街並み

和歌山県和歌山市 加藤 淳一

新しき明日を信ずる啄木の
夢の一つか

さんさ踊りは

神奈川県横浜市 牛島 芳一

烈しさもまた美しさ

夏の夜に

五色の帯の散れる輪踊り

静岡県静岡市 山下 奈美

平成二十二年九月選 夏の部
投稿数 二百十四首

選者 柏崎 駿二氏

夏の部優秀賞十首

石垣を

色どる落ち葉はらはらと

今年の記憶鮮やかに積む

岩手県盛岡市 木下 知子

